

インセクツ・ウィンドアンサンブル
管楽合奏は楽しい会？

ジョイントコンサート

2012年5月12日(土)14時開演 タワーホール船堀/小ホール

E. ベルナール 成本理香(編曲)	(仏/1843~1902)	「嬉遊曲 作品36(管楽十重奏)」(合同) (Fl)吉田/信澤 (Ob)一宮/寺嶋 (Cl)景山/中川 (Fg)森川/井田 (Hn)井上/市原
		「日本の歌メドレー (管楽十重奏)」(インセクツ) (Fl)吉田/信澤 (Ob)寺嶋/牧田 (Cl)三浦/中川 (Fg)井田/横山 (Hn)小原/井上
----- Intermission -----		
J. ミスリヴィチェク	(捷/1737~1781)	「八重奏曲 第1番」(楽しい会) (Ob)土屋/一宮 (Cl)兼氏/景山 (Fg)山田/角山 (Hn)市原/加治
R. シュトラウス	(独/1864~1949)	「13管楽器の為の組曲 作品4」(合同) (Fl)信澤/吉田 (Ob)牧田/一宮 (Cl)兼氏/三浦 (Fg)山田/横山 (Kfg)角山 (Hn)加治/井上/市原/小原

合奏の楽しさ

私とINSECTS Wind Ensembleとの付き合いが27年にもなるのに、改めてびっくりして居ります。この「虫」達は音楽を餌に27年間貪欲に生き続け、その勢いは衰えを知りません。そして私が信頼を寄せる森川一君が主宰する「管楽合奏は楽しい会？」(ネーミングが素晴らしいですね)。この二つの管楽グループがJoint Concertを企画する・・・という楽しい相談を受けた時は、これまで管楽アンサンブルにのめりこんで音楽活動を展開して来た、私の音楽遍歴への回答なのかな～と感慨深いものがあります。と言っても、成り立ちも歴史も全く異なる演奏団体が共演する・・・という事はそんなに易しいものではありません。それぞれが運営や演奏上に異なる約束事、いわゆる「不文律」が存在する訳です。しかし彼等はそのネーミングが示す様に、より音楽を楽しもう、美味しい音楽により近づこう・・・という思いが、そうした互いの「不文律」を超え、純粹に音楽に接する精神が完全に一致した訳です。この公演を契機にこれから何を生み出すか？そう思うだけでわくわくします。それでは、どうぞごゆっくりお楽しみ下さい。

仕掛け人 菅原 晔 (インセクツ音楽監督)

出演者の簡単なプロフィール(パート別50音順)

(Cond)菅原 眸 (すがわら ひとみ)

法政大学在学中にファゴットを始め、中田一次氏に師事。東京藝術大学に入学。卒業後、NHK交響楽団に入団。在団中にドイツ、デトモルトの北西ドイツ音楽大学でA.ヘニゲ氏に師事する。N響では「ひげ」の名物ファゴット奏者として、またコントラファゴットの名手としても鳴らした。在団中から東京音楽大学で、退団後は愛知県立芸術大学教授としても後進の育成に力を注いだ。現在、日本バスーン(ファゴット)協会会長。主に管楽アンサンブルの指揮者としても多くの演奏会に出演、インセクツ創立以来の音楽監督で楽しい会?にも度々登場して戴いている。(森川 記)

先生はインセクツの音楽監督・指揮者であり、インセクツをうまく料理する名シェフであります。個性がそれぞれ際立つ素材(私たち)をうまく下ごしらえし、頭を抱えるようなレシビ(曲)でも、毎回それなりに美味しく?仕上げていただいています。インセクツの新年会では、実際に先生は名シェフとなり、ご自宅で絶品ビーフシチューなど、素晴らしい手料理の数々を団員に振舞って下さいます。団員はそれをお腹一杯食べ、そして飲み、1年分の栄養を蓄えます。名シェフ菅原先生の腕の良さとその素敵な人柄で、ファンの輪は果てしなく広がっており、その輪の中から森川先生とインセクツが繋がることで、今回の演奏会開催となりました。さて、ジョイントの出来栄はいかでしょう、先生!(横山 記)

(Cond/解説 & Fg)森川 一 (もりかわ はじめ) 楽しい会?

法政大学在学中ファゴットを始め、菅原眸氏に師事。同校卒業後、東京藝大別科で三田平八郎氏に、別科修了後元ハンブルク州立劇場奏者F.ヘンカー氏に師事。フリーの奏者として今日に至る。78年より毎年ソロ及び室内楽の演奏会を主催。その他オケのトレーナー、文筆など多岐に渡る活動を行う。演奏活動では「フルスヴァルト合奏団」「森川室内楽」などを、またリード製作者としても高い評価を得ており「森川ファゴット・リード倶楽部」も主宰している。「管楽合奏は楽しい会?」は菅原眸氏が活動していた「東京木管合奏団」に影響を受け、1991年に創設した。また2002年には法政響のOBで「法政ファゴットの会」を設立し代表を務める。

(Fl)信澤達也 (のぶさわ たつや) 楽しい会?

高一のとき隣席の友人の勧めでフルートを始める。東大管弦楽団を経て卒業後は東京アマデウス管弦楽団で活動し2009年より団長を務めている。鉄鋼系化学メーカーで永らく研究職を勤めたが、昨年より特許関係の仕事に転じた。終日机に向かう仕事なので運動不足が気になる昨今である。

(Fl)吉田卓見 (よしだ たくみ) インセクツ

学生の頃より、多くを語らないフルート吹きの方の吉田さん。でも演奏面では感情的で華麗な一面を見せてくれます。家庭では良き一児のパパ!菅原先生宅でのイベントには、奥さま不在で愛鳥「みっちゃん」と参加。どうなることかと思いきや、楽器のように見事に「みっちゃん」をコントロールしてました。(メタボなエーラー吹き)

(Ob)一宮悠子(いちみや ゆうこ) 楽しい会?

中学からオーボエを始める。高校時代には鈴木繁、大学時代より渡辺潤也の各氏に師事。大学を卒業、地元仙台で就職したのを機に念願のアマチュアオケに入団。以降、レッスンの度に高崎へ、また声が掛ければ喜んで上京し演奏活動をする日々を送っていたが、この春より埼玉へ移住し週末の音楽活動を楽しんでいる。平日は医療専門職として勤務。

(Ob)土屋英晃 (つちや ひであき) 楽しい会?

東京都出身。14歳よりオーボエを始める。桐朋学園大学音楽学部を卒業。同大学卒業演奏会に出演。第12回別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2011にオーケストラメンバーとして出演。2009年、市川市文化振興財団第22回新人演奏家コンクール管楽器部門で優秀賞を受け新人演奏会に出演。市川市文化振興財団主催の演奏会に多数出演。コンセール・ヴィヴァン第29回新人オーディション合格、同時に優秀賞を得る。これまでにオーボエを、藤村理子、宮本文昭、嶋崎耕三、浦丈彦の各氏に師事。室内楽を、白尾彰、岡本正之の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部研究生2年在学中。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団、Ensemble Le Creuset(管楽五重奏)メンバー

(Ob)寺嶋悠子(てらしま ゆうこ) インセクツ

寺嶋さんは、昨年結婚されました。ネットで知り合った方だそうです。でも、なかなか二人の予定が合わず?つい最近まで別居状態だったそうです。今の方たちにはいろいろな夫婦の形があるのですね。それから、彼女はとっても面倒見の良い方です。同期の方たちからはお母さんのように慕われているそうです。インセクツの合宿の飲み会でもそんな一面が垣間見られました。今回の演奏では、つやっぱいオーボエの演奏が聴けると思いますよ。乞うご期待!(いのうえ)

(Ob)牧田直子(まきた なおこ) インセクツ

最近若返り気味の団の中で、ベテランとして老若かまわず引張っていく風格のようなものが備わってきた様に感じます。若手と思っていたけれどそれもその筈、気付けば入団からは十数年...練習中、団長K氏との指摘の応酬も堂々たるものです(入団後間もなくからそんなに変わってないよという声も聞こえますが)。という訳で最早すっかりインセクツの顔といっても過言ではない若手リーダー牧田嬢です。(よ)

(Cl)景山賢嗣 (かげやま けんじ) 楽しい会?

東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団、ダンゲダーク管弦楽団に所属。これまでにクラリネットを平林邦男氏、兼氏規雄氏に師事。平日は大手情報通信企業にてシステムエンジニアとして勤務している。某コンビニATMの取引中継オンラインシステムを担当

(Cl)兼氏規雄 (かねうじ のりお) 楽しい会?

東京藝術大学附属高校を経て同大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学留学。NHK洋楽オーディション合格。NHK「午後のリサイタル」等に出演。水戸芸術館「公募企画シリーズ」の第1回出演者に選出されリサイタルを開催。08年、東京オペラシティでのリサイタルについて、「音楽の友」誌上で絶賛される。水戸芸術館主催の「茨城の名手・名歌手たち」オーディション審査員、「茨城の演奏家による演奏会企画」選考委員、茨城県の新人演奏会出演オーディション審査員、新人賞選考委員。また、日本クラシック音楽コンクールの全国大会木管楽器部門審査員も務める。現在、上野学園大学音楽学部、茨城大学教育学部、大東文化大学文学部講師、水戸ソリスト代表。フルスヴァルト合奏団同人

(Cl)中川知行 (なかがわ ともゆき) インセクツ+楽しい会?

エーラー式(ドイツ式)クラリネットをこよなく愛する中川くん。ペーム式(フランス式、多くの人はこちらを使用)とくらベキイが多く指使いも各段に難しいのですが、その音色に完全にハマってしまいました。本日はその深くかつ芯のある音色、どうぞお楽しみください。小指(特に左)のスライド技に注目!(ら)

(Cl)三浦紗葵 (みうら さき) インセクツ

インセクツのホープ三浦さんは、人懐こく可愛らしい笑顔が魅力的な大学院生。長身(170cm!?)の彼女は「小さくて可愛いものに憧れる」とのことで、チロルチョコのパッケージ集めをしていたことがあるそうです。けれど、「ミッフィーは好き」で、「リラックマは嫌い」とか...(どうということ??)本日は、重厚で存在感のあるクラリネットの音色を、どうぞお楽しみください♪(チョコ好き)

(Fg)井田美樹 (いだ みき) インセクツ

黒髪ストレートが印象的な井田さん。インセクツではファゴット奏者ですが、実は鍼灸・アロマセラピー・パッチフラワーレメディなど、東西の癒しを知り尽くしたお方でもあります。祖母、母そして私の3代に渡ってお世話になっているので、もう足を向けて寝られませんか…。そんな井田さんの奏でるファゴットは、温かい音がするように思います。全体を優しく支える低音に、ぜひ耳を傾けてみてくださいね!(もとやなぎ)

(Fg & Kfg)角山由美 (かくやま よしみ) 楽しい会?

法政二高では吹奏楽部、その後法政大学交響楽団で演奏、ジュネスにも出演する。卒業以来、日本音楽著作権協会(JASRAC)にて、音楽家の権利を守る仕事一筋。現在は一線を退き、改めてファゴットの基礎から取り組んでおり、楽器を奏でる意欲は旺盛。2011年にドイツを旅した折に体験した新鮮な感覚により、音楽に対する情熱はますます熱くなっている。加えてコントラファゴットの名手でもある。「管楽合奏は楽しい会?」ホームページの管理人。「法政ファゴットの会」同人

(Fg)山田祐理(やまだ ゆうり) 楽しい会?

法政二高では吹奏楽部、その後法政大学交響楽団、ジュネスでファゴットを演奏する。ファゴットを森川一氏に師事。同大学院工学研究科博士課程を経て博士号取得。現在は法政大学その他で講師を務めている。東京アマデウス管弦楽団で演奏するほか、エキストラとして多くのオケに出演。背にはコントラ、手にはファゴットを持ち東奔西走している。「法政ファゴットの会」同人

(Fg)横山秀美 (よこやま ひでみ) インセクツ

「よーこーやーまー」菅原先生の視線の先には、ほんわかした笑みをたたえたひでみちゃんが。そのえくぼのかわいい笑顔に、だれもが何もかも許してあげたくなっちゃいます。あ、みなさま、ひでみちゃんのかわいいえくぼは、ファゴット演奏中にも見られます。さがしてみてくださいね(まきた)

(Hr)市原秀紀(いちばら ひでき) 楽しい会?

東京大学音楽部管弦楽団で活動し、故・伊藤泰世氏に師事。大学院在学中は柏交響楽団で活動。その後電機会社に研究員で就職し沼津在住。東京アマデウス管弦楽団(週末に上京)、沼津交響楽団に所属。2011年秋に転職・東京復帰。現在は研究開発企画に勤しむ日々。現在も東京アマデウス管弦楽団所属し、更にホルンアンサンブル"Strudel Hornisten"木管アンサンブル"Particles"を主宰してみたりしている。また東京復帰を機に脇屋俊介氏に師事。

(Hr)井上華子(いのうえ はなこ) インセクツ

腰痛がひどい日でも、教え子達と格闘した後でも、窓ガラスが割れた日でも、どんな時も元気なホルンと明るい笑顔!それが華子先生です。練習中に聞こえてくる声の大半はホルンセクションですが、なかでも笑い声と叫び声(?)においては華子先生が一番です(私調べ)。そんなインセクツにはなくてはならない大ムードメーカー。いつも元気をありがとうございます。今日も輝いている華子先生のホルンの音色をご堪能ください。(さきいか)

(Hr)加治祐子(かじ ゆうこ) 楽しい会?

12歳よりホルンを始め、埼玉県立伊奈学園総合高等学校芸術系(音楽)を経て、2008年東京音楽大学を卒業。現在はフリー奏者として、オーケストラをはじめ、室内楽にも積極的に取り組み、ジャンルを問わず演奏活動中。今までホルンを、曾根敦子、水野信行、山岸博、西條貴人各氏に師事。

(Hr)小原厚行(こはら あつゆき) インセクツ

彼との付き合いはもう27年に上るが、彼程容姿が変わらない男性にはお目に掛かったことは無い。顔付きが多少大人っぽくなったかな?位だ。インセクツの団長としての統率力も抜群で、細やかな気配りは感心するばかりである。大手製菓で何やら怪しげな菓子を研究しているらしい。彼のオールラウンドなホルンも説得力抜群で私にとって心強い音楽家の1人でもある。更なる進歩を期待する!(菅ジー)

(Hr)山内正晴(やまうち まさはる) 楽しい会?

高校生の時からホルンを始め、いろいろなプロ奏者を聴いて手本にして勉強してきたので、特に師事したと言える先生はいない。現在、市川交響楽団に所属。楽器はドイツのアレキサンダー社製を使用。実は諸般の事情により今日の出演を取りやめたが、練習にも出たのでプログラムにはその名を留める事とした。

ジョイントへの道程

本日はお運び下さり有り難うございました。この演奏会に付いて少々記しておきたいと思えます。実の所、インセクツと楽しい会は創立の理念が違います。しかし両団体とも「菅原眸」という希有な人物の影響を受けており、そして氏こそが両団体を結び付ける触媒に他なりません。平均年齢は楽しい会が少し高いのですが、管楽合奏を愛し楽しもうとする気持ちに差はありません。ちなみに私が菅原先生の門を叩いてから40年を超えています。初めてお会いした先生の歳を大分越していますが、師弟の関係は変わっていません。時を経ても変わらないものは、多くはないし大事にする価値があると思うのです。そして「演奏」もその一つです。

そもそも、どうしてジョイントをしようという話になったのか？

昨年の1月にこの2団体にもう1団体が加わって、菅原先生の喜寿の会を企画し催したのです。その二次会の時にインセクツ代表の小原氏に「ジョイントでもしようか」と気楽に言ったのがきっかけです。結構酔っぱらっていたしクラリネットの中川君が楽しい会にも出演していた事もあり、そんな言葉が出たのでしょう。返事は「やりましょうか」でした。酔っ払いようと発した言葉は実現するのが私のモットーで、小原氏もまたそうなのでしょう。取り敢えず場所を確保し、後は何とかなるだろうと言った風でした。かくして船は岸を離れたのです。まあ漕ぎ出してみると、ポリシーの違う団体が折り合いを付けるのは大変です。ワンマン体制(森川が雑用係の意)の楽しい会と、同じ学生オケ出身者で始めた民主的運営のインセクツとでは、何かと決定に至る道筋で齟齬が生まれました。しかしながら、小異を捨てて大同に就く事で本日の開催に漕ぎ着けた訳です。目出たし、目出たし。

曲目について

出し物ですがインセクツと楽しい会が1曲ずつ単独演奏し、合同で2曲演奏します。各々のアンサンブルの持ち味を、更にミクスチャーされた音色を楽しんで戴こうという趣向です。本日、楽曲の解説は演奏の合間にする事にいたします。ところで、合同曲のベルナールとR. シュトラウスは管楽器奏者にとってスタンダードな曲ですが、10数年前にはそうではありませんでした。つまり10数年でアマチュアのレベルは更に上がり、曲目の幅も広がったのです。管楽合奏を楽しむ機会も増えて来ました。我々はそうした動きを先取りした団体として、これからも曲目の開拓に勤しむつもりです。知られざる名曲、佳作の多いジャンルなのでから。

演奏するという事

合同の曲は菅原先生に指揮して戴き、楽しい会は私が指揮します。楽しい会はプロアマ混成の合奏団ですので、純粋アマチュアのインセクツにはプロの奏者が参加する状況は刺激的でしょうし、新しい仲間との出会いは双方のメンバー共に新鮮だと思えます。私も菅原先生の指揮下でファゴット吹きとしても参加します。

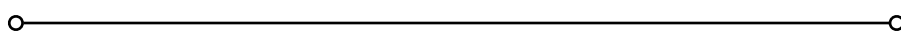
演奏団体を維持し、より良い活動を目指すのは実に悩み多く難しい事です。メンバーが変わればやり直しです。運営が経済的にも大変で、何度も辞めよう、解散しようという思いに襲われました。その度に仲間にも救われ、幸いな事に良い人材に恵まれて来ました。皆の協力無しには何も出来ません。独りで相撲は取れないんです。インセクツも人が入れ替わるといふ悩みがあった筈です。他人と関わるのは面倒ですが、だからこそ仲間達と音楽が出来る喜びは大きいのです。上手ければ上手い程演奏は楽しいのですが、拙くてもそれなりの楽しみは存在します。演奏する事は凝縮された人間(じんかん)だと考えています。演奏の良し悪し、そして好悪はその結果です。

かつては聴くだけだった愛好家が今は楽器を手に入れます。聴いているだけよりやる方が楽しいに決まっています。現代は言わば「演奏の時代」「アマチュア演奏家の時代」で、聴衆が減っています。プロには厳しい時代ですが(笑)これからも続くでしょう。それだけ文化が成熟したとも言えます。私はこれからも菅原先生の許に、そして私の周りに集まってくれる仲間達と共に、この「社会現象」に関わって行きたいと思っております。

森川 記

これからの演奏会のお知らせ

管楽合奏は楽しい会? No.38/2012年10月8日(月/祝)14時開演
深川江戸資料館 小劇場 曲目 バード「十重奏曲」他



インセクツ・ウィンドアンサンブル 第27回演奏会
2012年10月13日(土)14時開演(予定)
ルーテル市ヶ谷センター 曲目未定